

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの市政活動報告>

第73号

2007年11月15日

一月刊



古川なおきレポート

古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@fukurukawa2002.com

偽装事件について思うこと

こんにちは。秋も深まってまいりましたが、皆様お元気ででしょうか。

最近、政治家や公務員の不祥事だけでなく、企業による食品の製造年月日や生産地の偽装、建物の構造や耐火性能などの偽装事件が続いています。本来企業は社会に貢献するために存在しているはずですが、お金さえ儲けることができれば少しくらい偽装しても大丈夫といった企業風土があるようです。様々な偽装事件でも特に人の身体に影響を与える食品などは悪質で許されるものではありません。何よりも身体に安全で、少しでも身体に良い食品を提供するところ、食品会社は目指すべきであり、そうした企業こそが多くの顧客から支持され発展すべきだと思います。問題企業は猛省し、政府や行政は再発防止のために法律や制度などの環境整備をすべきであると考えます。余談ですが、食品添加物や農薬漬け野菜等の問題を解決し、安全で健康に良い自然食や有機野菜などオーガニックな食品が、より安く私たち消費者に届けられることが私の理想です。

ところで、「世の中に良い会社を多く増やして、社会に貢献すること」を理念として活躍されている方がいます。私が尊敬する明治大学会計大学院特任教授で経営コンサルタントの小宮一慶さんです。小宮さんは自ら必要以上にお金を稼ぐことをしない方で、顧問会社は15社以上増やさず、著作や講演、大学院での授業を行うことで社会に貢献する正しい会社を多く増やそうと活動されています。私も経済や企業経営、人生の生き方に関して多くのことを小宮さんから学ばせていただいています（小宮さんは先生と呼ばれるのを好まない方です）。

小宮さんとは10年前に飛行機で隣の席に座らせていただいたことが縁で、成田空港までの8時間、経済から様々な社会問題までお話を伺いました。以来、個人的に小宮さんが主催する勉強会等でご指導いただいています。趣味は勉強、著書は数十冊、非常に頭の回転の速い方ですが、謙虚で人情味があり、あるお寺を通じてアジアの恵まれない子ども達に寄付をされています。最近では日本テレビで火曜日の夜放映されている「週刊オリラジ経済白書」の出演や新刊の著書「ビジネススマンのための発見力養成講座」が大手書店でベストセラーに入るなど、日本のオピニオンリーダーとして活躍が期待されています。

小宮さんは「お客さま第一主義」を徹底することが良い会社になるために大切だとしています。お客様がいなければ企業は存在できないということはあたりまえのことですが、意外と企業は意識していません。お客様からの電話より社内会議を優先する会社、受付に人を配置しないで電話を置く会社もお客様より会社の都合を優先させているため良くない会社だと言います。私も希望が丘にある小さな事務所を経営する者として耳の痛い話です。小宮さんの提唱する「お客さま第一主義」がすべての企業で実践されれば偽装のような不祥事はなくなると思います。また、税金を使って住民サービスをする役所はさらに心がけなければならぬことだと思えます。（旭区役所は区長を中心に窓口サービス全市ナンバー1を目指していますのでご期待ください！）話は戻りますが、会社の都合だけを考え少しごまかしてでも売れば良いと日付を

（2面に続く）

↑1面より↓

偽装したことは、お客様のことを全く考えていません。結局信頼を失い会社のためにはならなかったのです。多少は損だと思っても正直にビジネスした方がお客様に信頼され結果的に会社の売上も上がるものだと私は信じています。商品が売れてしまえば環境に悪くてもいい、視聴率を上げることができれば番組の内容が社会に悪影響を与えてもいいといった企業姿勢は間違っていないと思います。もちろん、企業は少しでも同業他社より売り上げを伸ばし、厳しい競争に勝ち抜かなければ倒産してしまいます。しかし、より良いサービスや商品を提供することで社会に貢献する企業本来の目的を忘れてはなりません。私たちも安ければいい、テレビは面白ければいい、といった安易な考え方や、金がすべてで金さえ稼げば勝ちと言った風潮を改める必要があります。人に對する思いやりや感動する心などお金では買えない大切なことが多くあることをもつと意識すべきだと思います。

私の事務所には「正直者がバカを見ない世の中にしたい」と政治家を志している大学生がいます。私たち大人は社会的な責任を自覚し、少なくともまだ社会に出ていない彼らに對して、最低限のモラルある社会を築き、次世代に繋げていかなければなりません。

社会の様々な事件を他人事と思わずに、私も精進していきたく思います。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願いました。お体を大切にしてください。

横浜市議員 古川 直季

公共料金のクレジットカード払いについて

＜クレジットカードで公共料金・税金を支払える例＞

私は、市民サービスを向上させる政策の一つとして、クレジットカードで公共料金や税金を支払えるようにしたいと考えています。先日も11月11日の日本経済新聞に特集されていましたが、全国の自治体では少しずつですが増えています。

横浜市では、水道料金の導入が決定しているのですが、固定資産税や軽自動車税などはカード会社の手数料が課題となり、現在検討中です。様々な議論がありますが、今後とも導入に向け努力したいと思います。

古川 直季

電 気	東京電力など
ガ ス	東京ガスなど
水 道	東京23区、横浜市(2007年度中開始予定)
国民健康保険	北海道むかわ町、三重県玉城町
国民年金	2008年2月分から全国で開始予定
自動車税	宮崎県
軽自動車税	神奈川県藤沢市、三重県玉城町
その他(住民税等)	三重県玉城町

＜編集後記＞

読みなれ読 いた文字訳み、いあめ、だり、たご、だけ成せ、とし、と幸い、です。最後、編集部

小宮一慶さんの 主な著書をご紹介します！

- 『ビジネスマンのための「発見力」養成講座』ディスカヴァー・トゥエンティワン
- 『M&A大再編で「消える会社、伸びる会社」』ビジネス目
- 『なぜ、オンリーワンを目指してはいけないのか?』ディスカヴァー・トゥエンティワン
- 『成功する上司』講談社
- 『思ったことはすぐやろう!』ダイヤモンド社
- 『図解 キャッシュフロー経営』東洋経済新報社

小宮一慶さんプロフィール

(株)小宮コンサルティング代表取締役 明治大学会計大学院特任教授
 京都大学法学部卒業 (株)東京銀行入行
 米国ダートマス大学エイモスタック経営大学院卒業 (MBA)
 東京銀行システム部部長代理 (経営情報システム担当)
 財務開発部部長代理 (M&A担当) (株)岡本アソシエイツ取締役
 日本福祉サービス(株)企画部長を経て現職
 1993年にUNTAC (国連カンボジア暫定統治機構)
 選挙監視員として総選挙を監視

古川なおきプロフィール

昭和43年8月31日横浜市生まれ 39才
 県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
 横浜銀行勤務後、議員秘書となる
 平成7年横浜市議員初当選(26才)
 平成19年4月4期目当選
 平成19年道路・安全管理委員会委員長
 同 青少年市民スポーツ特別委員会
 自民党横浜市支部連合会女性局長
 日本動物福祉協会横浜支部支部長
 鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
 旭区スポーツダンス協会顧問
 旭区サッカー協会顧問
 旭区卓球協会顧問
 旭区食品衛生協会顧問
 神奈川・横浜ディスプレイ協同組合顧問
 学校法人 八洲学園 理事
 NPO法人スクール・イト・ジヤソ理事
 卓球本間クラブ所属
 横浜青年会議所(JC)
 明治大学公共政策大学院在学中